

高分子学会九州支部大学間連携フォーラム

主題：高分子集合体の構造制御と機能発現

趣旨

高分子量鎖状分子は、バルク状態、溶液状態において多様な凝集構造を形成し、多彩な機能を実現する。したがって、所望の物質機能の実現には、分子鎖が形成する凝集構造を意識した分子設計、形成される凝集構造の理解、“構造”と“物性”の相関関係の理解が肝要となる。本フォーラムでは、高分子鎖の自己集合により形成される集合体やゲルを生体材料や医用分子システムに応用する先端研究に携わる研究者にご講演いただき、相互に議論を交わすことによる新たな分子システムの発想を目的とする。

主催：高分子学会九州支部

日時：2021年12月1日（水） 14:00-16:45

会場：オンライン開催（Webexを使用予定。詳細はお申し込み後に連絡いたします。）

プログラム（敬称略）

14:00～14:05 開会の挨拶

幹事 檜垣勇次（大分大学）

14:05～14:55

「温度応答性高分子が創り出す分子システムとナノ・バイオ材料応用」

西村 智貴（信州大学）

温度応答性高分子は、水との水素結合能を有し、ある温度を境に水への溶解性を変化させることができる。本講演では、この温度応答性高分子の特徴を活かした分子システムの開発や機能を示すと共に、そのナノ・バイオマテリアルへの応用例も紹介する。

14:55～15:45

「ポリイオンコンプレックス形成に基づく分子濃縮を利用した階層構造制御」

岸村 顕広（九州大学）

タンパク質や核酸などの生体高分子を荷電性高分子と捉え、ポリイオンコンプレックス形成を用いた新規分子濃縮法や、濃縮相形成とブロック共重合体由来の微細構造形成を組み合わせ、ユニークな階層的構造を作製する新手法を開発したので報告する。

15:45～15:55 休憩

15:55～16:45

「両性・双性イオン高分子の相分離挙動およびバイオマテリアル応用」

松村 和明（北陸先端科学技術大学院大学）

両性イオンポリマーや双性イオンポリマーは、タンパク質の吸着抑制に伴う高い生体適合性や細胞の凍結保護作用、タンパク質の保護活性などが報告され、バイオマテリアル応用に期待されている。さらに、特徴的な相分離挙動を示すことも知られている。今回はこれらの高分子の機能及び構造について議論したい。

16:45 閉会

参加要領

- 1) 参加費 : 無料
- 2) 定員 : 200 名
- 3) 申込方法
 - ▶ E-mailにてお申し込みください。
 - ▶ 本文に受講者の氏名、所属、連絡先（代表者）を明記の上、代表者がお申し込みください。講演会にアクセスできる URL を代表者にお知らせします。
 - ▶ 同時配信できる端末の数に限りがあることと、通信負荷軽減のため、感染対策ができる環境であれば、できるだけ複数人が1つの端末を利用して聴講いただけますようお願いいたします。
 - ▶ 会場に入室したら参加者表示を「所属_氏名」に変更してください。
- 4) 申込締切 : 2021 年 11 月 29 日（月）

申込・問い合わせ先

檜垣勇次（大分大学 理工学部）

TEL : 097-554-7895

E-mail : y-higaki@oita-u.ac.jp